

焼走り溶岩流の生き物

一見、焼走り溶岩流の固まった岩地には全く生物がないように思えます。しかし、よく見ると、地衣類やコケなどの先駆植物をはじめとする標高の高い場所でも生育可能な植物が存在しているのが分かります。この地域には土壌がほとんどないため、植生の発達が困難で、ここに定着することができた植物は少数です。焼走り溶岩流では、森林の発達の初期段階を観察することができます。

焼走り溶岩流は、岩手山の険しい火口部の最高峰である薬師岳の北東側を覆っています。国の特別天然記念物に指定されているこの溶岩流は、1732年に起こった火山の噴火によって発生しました。岩手山の海拔920メートルから1,200メートルまでの間で五か所から溶岩が噴出し、全長3キロメートルの溶岩流を作り出しました。